

“ゼロ災”のその先へ、BCP体制による安全と安定供給を実現する仕組みづくり

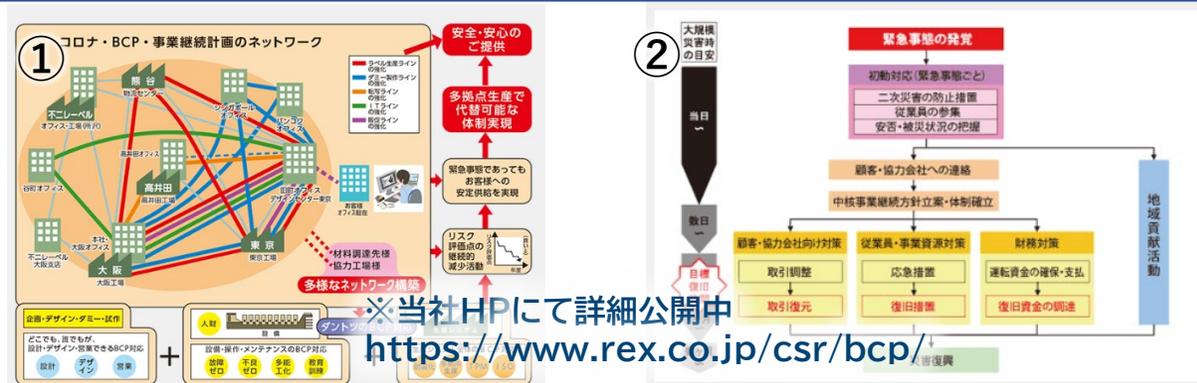
事業者名	寿精版印刷株式会社
業界・業種	製造業
従業員規模	486名
地域	大阪府

背景（課題・ニーズ）

当社では、36年にわたるTPM活動を通じて、労働災害防止に向けた改善活動・及びISOに基づく安全手順標準化のサイクルを醸成しています。その基盤の上で当社は、“ゼロ災”の先にある、社員の心と体の両面からの健康・安全を維持しながらも、組織体制として、緊急事態発生時においても、お客様への安定供給責任を実現すべく体制を整えると共に、平常時でも、安全にこの体制を活用できる。

取り組んだプロジェクト内容

1. 平常時における工場システム全体の危機管理体制の確立。
→工場システム全体の計画保全により、一部地域で障害が発生した場合でも、他拠点で代替可能なネットワークの構築。
2. 緊急時におけるBCPの発動フローの確立。
→緊急事態が発生した場合のBCPの発動手順フロー化。
3. 定期的な安全訓練
→定めた各手順が、正しく実施できるか、定期的な社内安全訓練の実施。



やってみての効果

- ・東西(東京・大阪)拠点で、同等レベルでの生産体制の確立。
→《災害時も安全に安定供給責任体制の構築》
- ・作業者に依らず安全に同一品質レベルでの作業を実現。
→《平常時における、拠点間での分散生産による、業務平準化》(残業が偏らない)

今後の目標や展望

- ・継続して生み出される新規技術開発案件における、拠点間での垂直立上げ。
- ・部署を横断した多能工化/多専門化の継続推進。
- ・心の健康維持に向けた心理的安全性教育の継続。